

プレ壁画実習ゼミ 終了報告

9月17日、5日間に渡る東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻壁画研究分野壁画研究室の学生によるプレ壁画実習ゼミが終了しました。初めての試みということで、試行錯誤の中での実習ゼミでしたが「是非また工房に来たい」「学校では学べないことを学ぶことができた」という声を多く聞くことができました。クレアーレ熱海ゆがわら工房のスタッフも、学生の新鮮な視点により、長年続けてきた作業の中から新たな発見をすることができたようです。

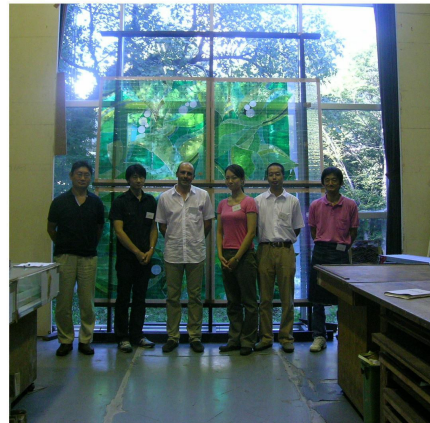
今回の実習を省みて、次回はさらに改善した形でゼミを行なう予定にしています。

ステンドグラスの制作実習を終えて 生徒の感想

- ・大学では体験することの出来ない大型の作品の制作に関わることができた
- ・原画を“翻訳”する作業はとても難しく、馴染みのない作業だった
- ・とても素晴らしい環境の中で集中して作業を行うことができた
- ・もっといろいろなことを自分から積極的に学ぼうとすればよかった



ステンドグラス講評の様子



ステンドグラス実習チーム

陶板の実習を終えて 生徒の感想

- ・自分の作品を作るときは、自分の美意識を追求すればよいが、今回制作に関わったパブリックアートでは原画を描いた作家がいて、納期があるので、いつもとは違う緊張感があった
- ・作家の意図を読み取る作業は難しかったが、それが作業の醍醐味となった
- ・平面の絵を立体にする作業により、デッサンの線の新しい解釈を知った
- ・作業を始めたとき、彫刻のような立体を作ってしまったが、最終的に壁面に設置することを意識して作業しなければならないことを知った



陶板講評の様子



陶板実習チーム